

プレミアム電動アシスト自転車用ユニット 『Bosch eBike Systems(ボッシュ・イーバイクシステム)』 Cycle Mode Ride Osaka 2019 に出展！（ブース番号 2-11）

2019年2月xx日

EB-2019-02

Bosch eBike Systems

- ▶ 『Bosch eBike Systems』が搭載された既存5ブランド(Bianchi、Corratec、Electra、Tern、Trek)が初めて Cycle Mode Ride Osaka 2019 に集結
- ▶ 最新バッテリー「PowerTube 500」が搭載された新モデルや、2018年より新しく参入したブランドが試乗可能

東京 —グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニー、ボッシュは、Cycle Mode Ride Osaka 2019 に出展します。2018年より新たに展開した内蔵型最新バッテリー「PowerTube 500」が搭載された新モデルや、新しく参入したブランドを含めた全5ブランド(Bianchi、Corratec、Electra、Tern、Trek)の展示、及び一般試乗会を行います。



※画像はイメージです

快適な走りを実現し、より豊かなライフスタイルを提供

『Bosch eBike Systems』は2009年に立ち上がり、以来2012年からは“電動自転車”ユニットサプライヤーとしてヨーロッパではマーケットリーダーに成長しました。既に70以上の有名ヨーロッパブランドがボッシュ製品により作られています。高性能の Drive Unit から、高品質なバッテリー、更にサイクルコンピューターまで製品のラインアップとしてご用意しております。これら電動アシスト自転車ユニットに備わっているコンポーネント一つ一つは、全てお互いに調和するようこだわり抜いて製造されています。

ボッシュ・グループとして培ってきた電動モーター、センサーテクノロジー、ディスプレイ、リチウム電池のノウハウを全て活用し、コーポレートスローガンである”Invented for life”を第一とし、ebike を利用する全ての人に「楽しさ」を提供することを掲げています。電動アシスト自転車用ユニット「Active Line Plus」はシティバイク、クロスバイク、折りたたみバイク、ミニベロ、など一人一人のライフスタイルにあった種類の自転車に搭載されています。

『Bosch eBike Systems』ブースについて

ブース内では自転車用ユニット「Active Line Plus」とその他コンポーネント、展示用のスペシャルモデルの eMTB やシティサイクル、更に発売中の eBike を見ることが可能です。更にご来場いただき、ご試乗いただいた方にはブース内にて飲物をお渡ししています。

試乗可能な eBike

ブランド名 : Bianchi ※Bianchi のブースにて試乗が可能です。

車種 : Lecco-E



ブランド名 : Corratec

車種 : E-POWER X-VERT 650B、E-POWER SHAPE、E-LS



ブランド名 : Electra

車種 : Townie Go! 8D (MEN'S/LADIES')



ブランド名 : Tern
車種 : Vektron S10



ブランド名 : Trek
車種 : VERVE+, Dual Sport+



Cycle Mode Ride Osaka 2019 について

550 台以上の試乗車が用意された西日本最大のスポーツサイクルフェスティバルです。

【イベント概要】

名称 : CYCLE MODE RIDE OSAKA 2019
会場 : 万博記念公園 東の広場+EXPO'70 パビリオン
日時 : 2019 年 3 月 2 日(土)・3 日(日)10:00~17:00 ※最終入園 16:30 まで
入場料 : 前売 900 円 当日 1,200 円 (税込・公園入園料 250 円含む)
※中学生以下無料、別途公園入園料が必要です。(小中学生 70 円)
※チームキープレフト会員は入場無料
但し別途公園入園料と会員証および名前が確認できる ID(免許証・保険証など)が必要です。

主催 : サイクルモード実行委員会(テレビ大阪/テレビ大阪エクスプロ)
公式サイト : <http://www.cyclemode.net/ride/>

Bosch eBike Systems とは

『Bosch eBike Systems』は2009年に立ち上がり、以来2012年からは“電動自転車”ユニットサプライヤーとしてヨーロッパではマーケットリーダーに成長しました。既に70以上もの有名ヨーロッパブランドがボッシュ製品により作られています。高性能のDrive Unitから、高品質なバッテリー、更にサイクルコンピューターまで製品のラインアップとしてご用意しております。これら電動アシスト自転車ユニットに備わっているコンポーネント一つ一つは、全てお互いに調和するようこだわり抜いて製造されています。

ボッシュ・グループとして培ってきた電動モーター、センサーテクノロジー、ディスプレイ、リチウム電池のノウハウを全て活用し、コーポレートスローガンである“*Invented for life*”を第一とし、ebikeを利用する全ての人に「楽しさ」を提供することを掲げています。

www.bosch-ebike.jp ボッシュ eBike Systems 公式ウェブサイト(日本語)

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2016年の従業員数は約39万人(2016年12月31日現在)、2016年の売上高は731億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドマニュファクチャリングに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたソリューションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 120 の拠点で約 5 万 9,000 人の従業員が研究開発に携わっています。ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ (1861 ~ 1942 年) がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 92% は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPress> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)